

事例 19 「小林式誘引捕獲法」の普及に向けた現地検討会の開催

(林野庁)



- ・長野県下諏訪町 策僕国有林
- ・現地検討会の様子
(令和5(2023)年7月)

- ・「小林式誘引捕獲法」により設置した
わな

林野庁では、「小林式誘引捕獲法」を活用した効率的なシカ捕獲方法の普及に取り組んでいます。「小林式誘引捕獲法」とは、シカが餌を食べる際に、口元の近くへ前足を置く習性を利用して捕獲する方法で、林野庁職員が考案したものです。くくりわなと餌を上手く組み合わせることにより、初心者でも簡単かつ効率的にシカを捕獲することができるため、効果的な捕獲方法として注目されています。

「小林式誘引捕獲法」について、令和5(2023)年度に考案者を講師とした現地検討会を全国9か所で実施しました。現地検討会には、森林管理局・署職員のほか地元自治体職員や林業関係者、猟友会会員など延べ700人以上が参加し、「小林式誘引捕獲法」によるわなの仕掛け方を実践しました。

また、「小林式誘引捕獲法」のポスターやパンフレット、動画を作成し、ウェブサイトやYouTubeで公開しました。引き続き、シカによる農林業被害の軽減に向けて効率的な捕獲方法の更なる普及に取り組んでいきます。



小林式誘引捕獲法

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kobayashishiki/kobayashishiki.html